

土木広報の方向性について

キーワード

- ① 暮らしと土木
- ② 伝えるから伝わるへ
- ③ 知りたくなる土木



土木広報の方向性：

- 私たちは当たり前の豊かな「暮らし」を支えている「土木」を広報します。
- 私たちは「伝える」広報から「伝わる」広報を目指します。
- 私たちは「知りたくなる土木」を広報します。

土木広報の方向性について

【主旨①】 伝えるべき内容を決める

「くらしと土木」

→ 土木が当たり前前の豊かなくらしを支えていること



日刊スポーツ紙 掲載広告(2017年3月 法人会員求人広告)

土木広報の方向性について

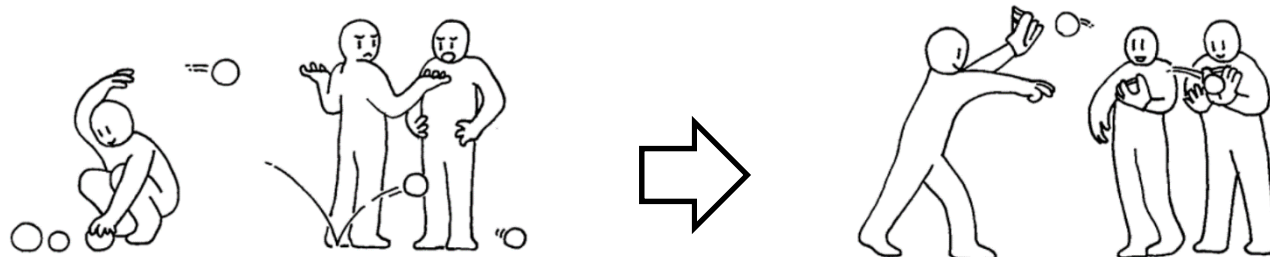
【主旨②】 どのように伝えるのか

「伝えるから伝わるへ」

→ 市民がどのような情報をもとめているのか

「自分事」に置き換えて考える

「相互に利益をもたらす双方向のコミュニケーション」を実現



「伝える」
一方的な情報発信
ではなかったか？

「伝わる」
互いを認識した
双方性のある広報に！

「土木広報アクションプラン」より

土木広報の方向性について

【主旨③】 伝わった後にどうしてもらいたいかを考える

「知りたくなる土木」

→ 広報を受けてもっとその先を知りたくなるように

- 土木のファンになりたい
→ もっと詳しく知り、楽しみたい
- 土木の魅力を伝えたい
→ 人に教えたい
- 土木の仕事をしたい
→ 誇りを持って仕事がしたい



オープンキャンパス土木学会2017(2017.7.8)